



令和5年度 学校便り

# 与論中だより

令和5年4月10日 与論町立与論中学校

校訓  
**誠**

体協自  
力創自  
気調造  
力調造主

# 誠

体協自  
力創自  
気調造  
力調造主

校訓「誠」

夢と目標をもって

「自覚」と「自信」

「島だち」へ

徳重 正宏



令和5年度は55人が本校に入学し、第2学年53人、第3学年59人、合計167人でスタートしました。入学式は、新型コロナウイルス感染症以前の近い形で実施することができ、大変嬉しく思います。

新1年生の沖希空さんの新入生代表の誓いの言葉に中学校生活への大きな期待と、学習内容等が難しくなる不安な思いを持ちながらも、一生懸命取り組んでいきたいという気持ちがしっかりと伝わる内容でした。また、新入生全員の様子もしっかりと話を聞いており、緊張感のある凛とした姿で式に出席していた態度が大変立派で、これからがとても楽しみになりました。

さて、私は本年の入学式で次のことを話しました。1つ目は、下にある学校教育目標に関する事。これは、先生方は勿論ですが、生徒自身も自ら主体的に勉強や心の持ちようを学び、自分の夢を実現してほしいということです。2つ目は、難しいこと、辛いことにあえて自ら挑む気持ちで、学習や部活動に取り組み、強い体と心をつくってほしいということです。**未来の自分は、今の自分がつくることを忘れず**、一日一日を大切にしながら過ごしてください。3つ目は、違いを認めるということです。学校には、いろいろな人がいます。自分とは、性格が違う、体格が違う、考え方やものの受け止め方、感じ方が違うのは当たり前です。違うからこそ楽しいし、そこに自分の知らない自分を発見するチャンスがあります。それを自分と違うからといって責めたり、仲間はずれにしたりするような自分中心にしか考えない身勝手な人にはならないでください。友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にしてくれます。ぜひ、あなたが仲間の喜びを2倍にし、悲しみを半分にする存在になってほしいと思います。

また、始業式では、校訓である「誠」について話しました。「自主、創造、協調、体力気力」の4つの柱を『誠』で実践する人になってください。誠は、「言」と「成」で構成されます。私は、「言うことによって成す。」「成すことで自信をもって言える。」そんな気持ちが込められていると考えています。一年後、全校生徒が今より『誠』ができるように成長していることを期待しています。

与論中学校職員は、様々な環境でも自信をもって活躍できる生徒の育成を目指して、努力して参ります。

## 学校教育目標

「未来の創り手となる生徒の夢実現に向けて、確かな学力と豊かな心を育てる」

〔 夢を実現する力、未来を切り拓く力、自ら学ぶ力、島だちできる力 〕

この目標の具現化に向け、保護者の皆様、地域のお力をいただきながら、教育活動を充実させていきたいと思っております。保護者の皆様と地域の皆様の学校への御理解と御支援をどうぞよろしくお願いいたします。